

ARTなエンブリオ通信 ②

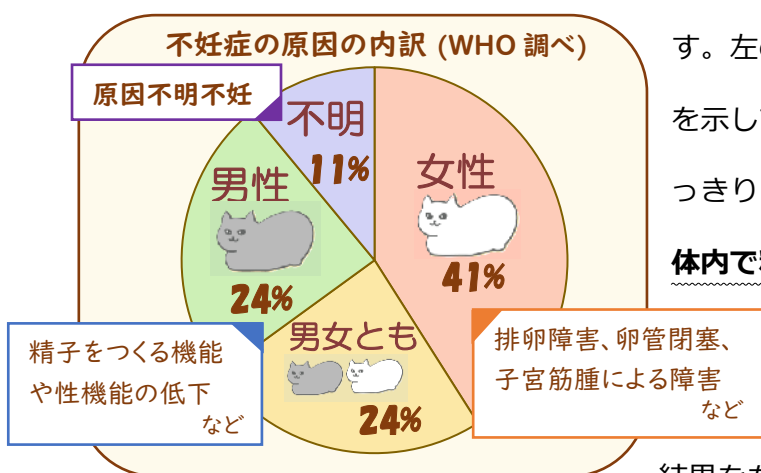
福井大学医学部附属病院 高度生殖医療センター
2026年7月 第2号

このエンブリオ通信は、不妊治療、とくに生殖補助医療（ART）について幅広い方に知っていただくためのものです。基本の解説から最近のトピックスまでわかりやすくお届けします。



はっきりわからないことも - 不妊症の原因はいろいろです

不妊症とは、「何らかの治療をしないと、それ以降自然に妊娠する可能性がほとんどない状態（日本生殖医学会）」と定義され、一般的には避妊をせず性行為をしても妊娠できない期間が1年続く場合をいいます。



左の図は、不妊症の原因は男女どちらにもありうることを示しています。また近年増加傾向にあるのが、検査でははっきりした原因が見つからない原因不明不妊です。これは、体内で精子と卵子が出会えていない、加齢により精子や卵子

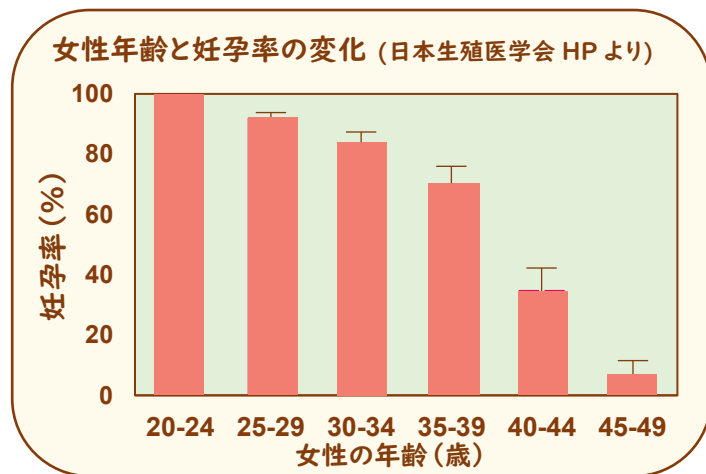
の機能が低下しているなどの理由が考えられます。

当院ではまずご夫婦の不妊症検査をおこない、その

結果をもとに医師が判断して必要な治療を開始します。

妊娠する力はどのくらい？^{にんようせい}妊孕性について

^{にんようせい}妊孕性とは妊娠する力のことです。具体的には、その人の妊娠に必要な臓器の状態、配偶子（精子または卵子）の状態、性機能などをいいます。右の図は各年齢の女性 1,000 人あたりの妊娠に至る確率（妊孕率）を 20~24 歳女性を 100%として示しています。年齢があがるにつれて妊孕率は徐々に低下し、とくに



35歳以降で顕著に低下することがわかります。これは卵子数の減少、卵子の染色体異常の増加、ホルモン



環境の変化、合併症の増加などが原因と考えられます。一方、男性も加齢により少しずつ妊孕

性が低下する可能性があります。原因として精液量や精子数の減少、DNA が損傷した精子の

増加などがあり、胚の発育不良や流産への影響が報告されています。

妊娠する力は個人差があります。不妊症が気になったら、年齢にかかわらず早めの受診をお勧めします。

高度生殖医療センターの HP もチェックしてくださいね

